

第九たいはず *Beethoven*

No.20 2016.10.13 通刊1210号 担当 Kei

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX: 027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)

暑かった夏も終わり、ようやく秋の気配が感じられる今日この頃です。秋といえば、読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋、そして食欲の秋…。いろいろな秋がありますが、第九の秋も頑張りましょう！

◆ 第43回ソリスト紹介④ バリトン 堀内康雄(Yasuo Horiuchi)

＜高崎第九合唱団との共演は初＞

慶応大学法学部卒。第21回イタリア声楽コンクールで第1位・ミラノ大賞を受賞後、91年ミラノ・ヴェルディ音楽院へ留学。

第39回トゥールーズ国際声楽コンクールで優勝し、94年ヴェネツィア・フェニーチェ劇場の「ラ・ボエーム」でデビュー後イタリアを中心に活躍。

日本には、97年藤原歌劇団の「椿姫」でデビュー。以後、愛知県芸術劇場、びわ湖ホール、新国立劇場等数多くのオペラに出演している。

艶やかな美声と多彩な表現力をもった演技で、国内外から高い評価を得ている日本を代表するバリトン。

第25回江副育英会オペラ奨学生。第2回五島記念文化財団オペラ新人賞、第25回ジロー・オペラ賞受賞。藤原歌劇団団員。武蔵野音楽大学教授。



◆ 演奏会チケットを販売しましょう

チケットの売り上げにより演奏会にかかわる全ての費用を賄っています。私たちの演奏を周囲の人に、聴いて、観て、楽しんでいただくために、演奏会を積極的にアピールしていきましょう！

私たちの演奏会です。一人ひとりが売るという努力をしていきましょう。また、チケットは1枚でも売れたらその都度、代金、封筒をお持ちいただき、受付で清算してください。

◆ 演奏会のチラシ・ポスターあります！

第43回第九演奏会のチラシ、ポスターができあがっています。ポスターを貼ったり、チラシを友人知人に配るなど、演奏会の宣伝をしていただき、第九の輪を広げていきましょう。検印が済んでいるポスターは、屋外に貼ることができます。(貼る場所は必ず許可を得て貼り、演奏会終了後は貼ったままにせず、必ず剥がしてください)皆さんで協力して宣伝していきましょう！

◆ プログラムの広告を募集しています

演奏会のプログラムに掲載していただける企業やお店等を募集しています。要項、見本もあります。詳しくは、アルト原さん、中島さんまで。締切りは10月27日(木)です。

◆ 今後の予定

- 11月5日(土)～6日(日) 軽井沢レッスン(武蔵野音大軽井沢研修センター)
- 11月24日(木) 指揮者レッスン(渡邊一正氏が練習会場で指揮をします)
- 12月10日(土) 第43回 第九演奏会(群馬音楽センター)
- 12月18日(日) 足利の第九(男声の応援をお願いします。詳細は後日連絡します)

なお、12月15・22・29日および2017年1月5日(木)の練習はお休みです。

- 2017年1月12日(木) 新年会・歌い初め(練習会場)
- 5月28日(日) メイコンサート(群馬音楽センター)

◆ 演奏会に向け新人さんより抱負④

ソプラノ 市川陽子さん

今年7月より3度目の入団をさせていただきました。最初に入団したのは高校1年の時、次が15年程前です。ずっとまたやりたと思っていたのですが子育て等でなかなかできず、今回やっと復帰することができました。

今回は久々で、こんなにも腹筋が疲れるのかと体力の衰えを感じています。そして第九の歌詞は覚えているのに、日本語のメドレーの歌詞が怪しくてそんな自分にちょっとがっかりしています。

実は瀧川先生は中学の合唱部時代の恩師で、先生には合唱の楽しさを本当に色々教えていただきました。その瀧川先生が第九の指導をされているのを知ったのもまた始めようと思ったきっかけでもあります。

12月の本番までに腹筋をもう少し鍛えて、歌詞も完璧にできるように頑張ります！



◆ “むさしの”歌のコンサート に行ってきました

ソプラノ 都丸恵子

10月1日(土)、軽井沢 大賀ホールにて、「“むさしの”歌のコンサート」を聴いてきました。

会場の音響効果も素晴らしく、出演された皆さんの歌声が会場全体に響き渡り、感動的な2時間を過ごすことができました。また、中でも最後に出演された出来田三智子さんの「蝶々夫人」は圧倒的に素晴らしく、拍手が鳴りやみませんでした。来年のメロコンサート共演が楽しみです。



◆ 「さっぽろの 999 人の第九」参加報告

アルト:土橋実加さん

10月2日(日)に札幌で行われた『999人の第九』に、高崎第九メンバーとして参加してきました。私にとって高崎第九コンサート以外で歌うのは、昨年のドイツ海外公演に続いて2回目。日本では初めての出張演奏となり、ドキドキワクワク！しかも初北海道ということもあり、ワクワクが倍増したのは言うまでもありません！



まず今回の演奏会場『札幌コンサートホールKitara大ホール』ですが、とても立派!!

ステージを客席が360° 囲むアリーナ型のホールは圧巻。反響板もしっかりしていて、とても響いて歌いやすかったです。群馬にもこんなホールができれば素敵だなと。それから今回のコンサートの指揮者は、今年の高崎第九コンサートでも指揮をしてくださる渡邊一正さんでした。そのため、指揮者がどのようなテンポで、あるいはどのような表現にもっていくのかをしっかりと観て、聴いていこう！と密かに思いながら、リハーサルと本番に臨みました。(ただ北海道の美味しい物ばかり食べていたわけではありません(笑))。



私の印象としては、比較的ゆったりとしたテンポで最後まで演奏されていたという感じでした。合唱人数が200人以上と多く、テンポを合わせるのにやや苦戦しましたが…。そのなかでも練習中の渡邊さんの一言「言葉をはっきりと」は印象的で、私も納得！大切なことだと改めて気付かされました。

高崎第九コンサートでも、観客に言葉をしっかり届けられる演奏ができればいいなと思っています。

秋の北海道を満喫しながら、県外の第九を愛する皆さんと交流でき、実りある演奏旅行となりました。今回、このような演奏旅行を企画し準備していただいた方々、また一緒に楽しく過ごして下さった11人の高崎第九メンバーの皆さん、本当にありがとうございました。

<写真は昨年の演奏写真、安達さん持参のレアー写真に感動の渡邊マエストロ、今回参加者キタラホール前で>

